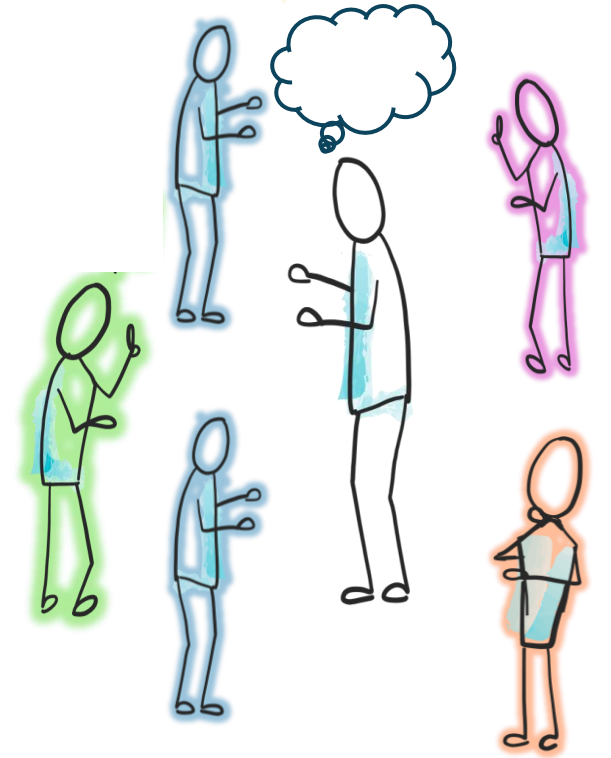


日本人学校の教育に複言語主義を活かす

本テーマでは、日本人学校がおかれる言語文化環境を最大限に活かして、**複言語主義的アプローチから「ことばの力」を育む教育プログラムの開発を行っています。**特に、「現地語教育」「現地理解教育」に関わる授業内容・交流活動、子どもの**「ことばの力」**を育む活動の仕掛け、そしてその多元的な評価手法を作成し、他校でも実践可能なモデルとして提示していきます。

ここでいう「ことばの力」とは？

「現地語」や「英語」という個別の言語の学習・習得という従来の考え方ではなく、「**複言語主義**」に基づいたものです。多様なことばをもつ子どもたちが、互いに他者と意見をすり合わせたり、それを伝えたりすることができるようになるにはどうしたらいいか。そして、日常会話にとどまらず、学習に必要な「ことばの力」を身につけるにはどうしたらいいか。そんな問いに具体的に答えていくことが目標です。



多言語主義と複言語主義の考え方

「**多言語主義**」とは、たとえば「日本語」「ドイツ語」「英語」という個別の言語や文化が社会に共存するという考え方



「**複言語主義**」は、「完璧な〇〇語」ではなく、個人の中に不均衡に混在する多様で部分的な言語能力を「自分のことば」として積極的に認めていく考え方

